課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15101006	極微量重差分化法の開発と応用	野島　博（大阪大学・微生物病研究所・教授）	A
提案の「一細胞由来の RNA 相当量」の微量試料を出発材料として cDNA を合成する技術を開発した成果は評価できる。しかし、当初の目標では、「単一細胞」から抽出した RNA を出発材料とした技術が期待されていた筈であり、その点からは、目標には到達できていない。今回の成果からは、原理的には目標達成は可能と予測できるので、実証を期待したい。			